



知恵の経営報告書2013
早蕨山荘 赤政
Sawarabi-sansou Akamasa

目次

目次

1. 目次	2
2. ご挨拶	3
3. 事業所概要	4
4. 沿革	5
5. 経営理念	6
6. 価値創造ストーリー表	6
7. サービス・事業内容	7
・季節感と贅沢感を演出するこだわりの料理 ～宴会・懇親会・会合を彩る～	7
・当店のお客様について	9
・売上・来客数の推移等	10
8. 知的資産～強みやその源泉・付加価値の源泉～	11
・仕入先との信頼関係	11
・仕入のこだわり・品質チェック	14
・調理ノウハウ・受け継ぎ	15
・ゆったり空間と配慮	16
・役割分担・“オーナーシェフ”にならないこだわり	18
・ネットワーク作り	18
9. 今後の展開・課題	19
・今後の展開	19
・今後の課題	20
10. あとがき	21

ご挨拶

ご挨拶

当店は創業以来100余年、自然の素材を活かした懐石およびなべ料理にこだわりつづけ、地域はもとより各地のこだわりのお客様に愛され続けてまいりました。

しかしながら昨今、多様化が進むにつれ顧客の嗜好も変化し、また地元において宴会のできる他の料理店の出店、ただでさえ不景気な中で顧客を分け合う状況となってきました。

この度、商工会より知恵の経営報告書へお誘いいただき、今まで漠然ととらえていた問題点をより明確に的確にとらえることができました。

当店が生き残るには、当店の伝統と当店の実績を活かし、個性的な料理と豊かな自然を活かした思い出に残るサービス拡充に基づくブランド力を増強し、顧客にとって特別な存在となるべく日々精進したいという思いを強く持ちました。

今後も、宇治田原はもとより京料理および日本料理を世界に広げるべく大きく幅広い視野をもって邁進したいと思います。

当店でしか味わえないお料理、そして空間、時をまもりたい…

早蕨山荘 赤政
五代目 福永 隆至



早蕨山荘 赤政
五代目 福永 隆至

事業所概要

事業所概要	
屋号	早蕨山荘 赤政(さわらびさんそう あかまさ)
所在地	〒610-0255 京都府綴喜郡宇治田原町郷之口向井24
創業年	明治終わり頃 (約100年)
代表	四代目 福永 善夫
従業員数(代表除く)	4人 (福永 有子、福永 律子、福永 隆至、安田 浩一)
電話 / FAX	0774-88-2380 / 0774-88-3616
営業時間	昼の部 12:00~14:00 / 夜の部 17:00~深夜
e-mail	akamasa.info@gmail.com
サービス内容	■ 季節に応じたコース料理の提供 ・春夏…う道菜なべ、はもなべ、鳥すき、季節の会席料理、その他 ・秋冬…ぼたんなべ、鳥すき、季節の会席料理
営業許認可・指定等の取得	■ 飲食店営業許可 ■ 風俗営業2号営業(接待・料理店)許可(昭和44年取得 第679号) ■ 旅館業許可
受賞・表彰など	■ 食品衛生管理優秀賞(平成13年11月) ■ 優良納税貯蓄組合 優良特別徴収義務店 京都府知事表彰



- 平等院
 - 車で約20分
- JR宇治駅
 - 車で約25分
- 宇治上神社
 - 車で約20分
- JR石山駅
 - 車で約40分
- 石山寺
 - 車で約40分
- 立木観音
 - 車で約30分
- 一休寺
 - 車で約25分
- JR京都駅
 - 車で約50分
- 大和西大寺駅から
 - 約70分
- 東京駅から
 - 約3時間30分

当店を中心とした半径15km周辺

地図引用: Google マップ
地図データ ©2012 ZENRIN -

沿革

沿革		
年	月	内容
明治後期		創業(所在地は、現在の中町商店街)
		初代赤井政吉が創業 会席料理を提供。
		地元のイノシシを使った料理を開始。当時はすき焼きとして提供。
		潮見市太郎が二代目として承継。
		地元産のイノシシを使用し、白みそ仕立てのぼたんなべの提供開始。
昭和23年		福永貞夫が三代目として承継。
昭和20年頃		創業当初から洋食も提供し、現在のオムライスにあたる「西洋の赤ご飯」が人気を博す。
昭和23年		宇治田原町で初めて生ビールの提供を開始。毎日樽3～4本(20L樽)の注文を受ける。
昭和44年	5月15日	現所在地に移転。風俗営業許可を取得。この頃から「う道楽なべ」の提供を開始。丹波篠山産イノシシに変更。
昭和50年		二階座敷の浴場を改装。
昭和56年		新館を建設。
		福永善夫が四代目として承継。
昭和62年		優良納税貯蓄組合 優良特別徴収義務店 京都府知事表彰
平成13年	11月	食品衛生管理優秀賞を受賞
平成24年		知恵の経営報告書の作成

もともと、宇治田原町の中心部で料理旅館を営んでおり、地元客に加え他地域からの来店客も多く、また他に同様の店もなかったことから、ほぼ独占状態でした。

昭和44年に現在の場所に移転した当時も、他地域からのお客様の割合もほぼ半数近くありましたが、今から15～20年前ぐらいから、地元のお客様の割合が多くなっています。

非公開ページ

P6～20 非公開

知恵の経営報告書とは

知恵(知的資産)とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の「無形の資産」であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産(特許・ブランド等)、組織力、経営理念、顧客とのネットワーク等、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を指します。

知恵の経営報告書とは、これら「知恵＝知的資産」を、顧客、協力先、従業員等といったステークホルダー(利害関係者)に対し、「知恵＝知的資産」を価値創造ストーリーとして、目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関して認識を共有化していただくことを目的に作成するレポートのことです。※

経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表され、平成20年年5月には京都府が「京都府 知恵の経営報告書－作成ガイドブック」を公表しています。本報告書は原則としてこれらに準拠して作成しています。

本報告書ご利用上のご注意

本報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当店の判断にて掲載しています。

そのため、将来にわたり当店の取り巻く経営環境(内部環境及び外部環境)の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当店が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

作成支援・監修外部専門家

本報告書の作成にあたっては、本報告書の記載内容につき、その客観性を維持・向上させる趣旨から、次に掲げる専門家のご支援を賜りました。

- 行政書士 中島 巧次 / 行政書士 谷田 良樹
所属：滋賀県行政書士会、日本知的資産経営学会 正会員
登録：知的資産経営認定士
京都府「知恵の経営」ナビゲーター
中小企業支援ネットワーク強化事業登録専門家
- 中小企業支援ネットワーク機関 京都府商工会連合会
山城地域ビジネスサポートセンター 広域経営支援員 石黒 太郎 / 上村 直樹

■お問い合わせ先

早蕨山荘 赤政
〒610-0255
京都府綴喜郡宇治田原町郷之口向井24
TEL:0774-88-2380 FAX:0774-88-3616
E-mail: akamasa.info@gmail.com

■担当者

早蕨山荘 赤政 五代目 福永 隆至

■発行

2013年2月28日





早蕨山荘 赤政
Sawarabi-sansou Akamasa